

全代会の広報誌
May.2022

Campus

宿舎祭特別号

光を宿す
再興の宴



やとかりタヌ

5月
27日
28日



模擬店会場

新入生を中心とした団体が多く出店する。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食物の提供は行われないこととなったが、縁日・物販・展示などの出店は予定されている。新たな様式の模擬店に期待したい。

平砂共用棟

火文字会場

火文字は、竹を使った組み木に火をつけ、暗闇に文字を浮かび上がらせることで、祭の雰囲気大いに盛り上げる。煌々と光り輝く火が闇夜を照らし、前夜祭のフィナーレを飾る圧巻のショーになること間違いなし。点火の前に行われる有志団体によるパフォーマンスにも注目したい。

出場専用口

入場専用口



メインステージ

野外ライブステージ

野外ライブステージは、宿舎祭の開幕を彩り、期待を大いに高める。6つの軽音サークルによるバンド演奏が行われる。力のある演奏が会場の雰囲気を最高潮にするだろう。

本祭オープニング

本祭オープニングは、学長などの来賓を迎え、4つの有志団体によるパフォーマンスと共に開催宣言が行われる。ステージは終始観客を釘付けにすること間違いなし。

ダンス企画

ダンス企画は、5つのダンス系サークルによるパフォーマンスが行われる。ダンス系サークルが勢揃いするため例年大きな盛り上がりを見せる。各団体の圧倒的なパフォーマンスに目が離せない。

大学生クイズ

大学生クイズは、気軽に参加できるイベントとして新入生同士はもちろん、学年や学類の壁を超えて3人1組のチームで優勝を争う企画だ。3人で協力して回答を作ったり、ミニゲームで回答権を奪いあったりとにかくアツい戦いが繰り広げられる。筑波大生の研ぎ澄まされた知力と柔軟な思考力を存分に発揮し合う熱い光景を皆さんもぜひご覧になってみてはいかがか。

タイムスケジュール

5/27 Fri 前夜祭		
16:00	メインステージ	
17:00	メインステージ横	
18:00	野外ライブ 16:30~20:40	
19:00	模擬店 17:30~21:00	平砂共用棟前
20:00		火文字 20:25~21:30
21:00		
5/28 Sat 本祭		
11:00	本祭 OP 10:55~12:05	
12:00		
13:00		
14:00	ダンス 13:30~15:40	
15:00		
16:00	大学生クイズ 16:05~17:20	模擬店 12:00~21:00
17:00		
18:00		野球場
19:00	ゆかたコンテスト 18:45~20:10 表彰式 20:15~20:50	花火 20:50~21:00



代表者インタビュー



1年生により結成された3団体が浴衣を着てパフォーマンスを競い合うゆかたコンテスト。メインステージにて祭のクライマックスを飾る。本番に向けて練習に励む個性溢れる魅力的な各団体の特色を代表者に聞いた。

ゆかコン 出場団体

つくむすめ

かななび ゆか
甘南備 由香

1年 総合学域群第2類

「せっかく大学生になったのだから楽しいことをしたい」と甘南備由香さん(総合学域群第2類1年)はゆかたコンテストの出場動機を語る。新入生の中には、新型コロナウイルス感染症の影響で満足のいく高校生活が送れなかった人が多い。そのような高校生活の分も大学生活を全力で楽しみたい、という考えのもと出場を決めたという。

甘南備さんは所属しているチーム「つくむすめ」について「いろいろな人がいて皆ノリが良く個性的だ」と話す。つくむすめのメンバーはTwitterを通じて集まったそう。都合の良い日に何人かで集まって練習し、上手いかわない振り付けは試行錯誤しながら、教え合っているという。

パフォーマンスの内容はアニメ『ウマ娘 プリティーダービー』の要素をふんだんに取り入れたものだ。アニメ内に出てくる学園の制服を着る演者と、その制服をモチーフとした浴衣を着る演者がいる。「ウマ娘の面白さを彷彿とさせる内容を取り入れている」と彼女はアピールした。ヲタ芸班による光のパフォーマンスもあるという。

「皆で息を合わせて踊りたい。かわいい踊りと格好いいヲタ芸の両方の活躍を楽しみにしてほしい」と甘南備さんは意気込んだ。



Moss Phlox

たかのあおい

高野 葵

1年 人文学類

チーム「Moss phlox」を率いるのは高野葵さん(人文学類1年)だ。チーム名は、団結という意味の花言葉を持つシバザクラの英名になぞらえて付けたという。「今年のゆかたコンテストは例年と違って学類などの枠にとらわれずチームを組めると知り、友人たちとの思い出作りのために出場すると決めた」と出場動機を語った。

パフォーマンスは、恋をした男の子が音楽に勇気をもらい、意中の女の子に想いを伝えるというストーリーに沿って展開される。特にパフォーマンス中の告白シーンが見どころだという。「緊張感が伝わればいいなと思う」と高野さんは話す。

また、チーム「Moss phlox」の特徴について、高野さんは「メンバーは15人いるがパフォーマンスするのは13人だ。あとの2人は着付けや音響をサポートしてくれる」と、それぞれのメンバーが個性を生かしつつ団結していることをアピールした。本番に向けて、振り付けの動画を共有し合って個人練習を積み重ねているようだ。「コロナ禍に適した方法を模索している最中だ」とも話す。

高野さんは「私たちの団結力を見せつけて優勝したい」と語気を強めて意気込みを語った。

AKB48

にしはま たいせい

西濱 大誠

1年 総合学域群第2類

「クスッと笑ってもらいたくて、この名前にした」とAKB(天久保)48の代表である、西濱大誠さん(総合学域群第2類1年)は語る。筑波大生の知っているものでキャッチーなグループ名を検討していく中、偶然聞いた「天久保」というつくばの地名から着想を得て、AKB(天久保)48に決めたそう。

もちろん、パフォーマンスの内容は本家AKB(秋葉原)48にまつわるものであるが、演目の随所には団体のユーモアが散りばめられている。西濱さんは「新鮮で飽きることのないような構成にした」と語った。

AKB(天久保)48のアピールポイントは、恥を捨てて全力で楽しく踊ることによって生み出されるダンスの「キレ」だ。優勝を目指し演目をより良いものにするために、メンバーは一致団結して、空き時間を活用しながら日夜練習にあたっているという。また、今回の出場は思い出作りとしての側面もあり、西濱さんは「全力で楽しむことも大切にしている」と話す。



やどかり祭とは

2022年5月、ついに宿舎祭が数
年ぶりに開幕することとなった。通称
やどかり祭と呼ばれる筑波大学宿舎祭
は、例年5月末に行われる新入生を中
心に交流を促す行事であり、祭の2日
間は大学構内は活気に満ちる。開学と
ほぼ同時にスタートした、半世紀もの
重みがある祭だ。

宿舎祭実行委員会委員長の玉川裕介
さん（情報科学類3年）は、「自分達
の手で祭を形にし、復活させることが
できるのか、最初の頃は不安も多かつ
た。しかし、今では自分が指示せずと
も皆が率先して動いてくれており、委
員会全体で祭へむけて動いていてとて
も嬉しい」と語る。2年の間宿舎祭を
開催できず、今年の新3年生の人数は
幹部の必要人数に満たないほど少な
かった。そんな中で玉川さんは、先輩
からの推薦を受け委員長となる。責任
ある役職を引き受けた心中には、半世
紀近く続いてきた祭を受け継ぐ使命感
だけでなく、皆で盛り上がることに
できる行事を率いてみたいという好奇
心があったという。

現在の宿舎祭実行委員会の構成員
は、1年生から3年生まで全員祭の風
景を知らず、最初は手探りで進むしか
なかった。開催のための計画書は外部
組織に提出するため失敗が許されず、

何度も会議を開き検討した。コロナ禍の
開催中止で、宿舎祭の存在さえも知らな
い人が多く、必ずしも宿舎祭が歓迎され
ている訳ではないことも知った。準備を
する中で数々の苦難を経験したが、実行
委員会のOBである4年生、職員や業者、
支援団体の協力を得て宿舎祭を開催する
ことができた。

祭は27日の前夜祭と28日の本祭の2日
間、メインステージ以外にも平砂宿舎付
近では有志の学生による屋台が出店し、
人々を楽しませる。多くの人々の努力に
よって復活した宿舎祭を、我々も心から
応援して盛り上げていこう。



2019年の宿舎祭の様子

BACK NUMBER



Campus224号 2021/10/01
特集：学内行事特集 ～祭りとその後 -Rising
after the Fall- ～
情報メディア創成学類～現代社会に MUST な MAST ～
2021年度の全代会
全代会活動報告



Campus225号 2022/01/01
特集：武道特集 ～その道を究める～
教育学類特集～教育の総本山～
全代会活動報告



Campus226号 2022/04/01
総合学域群～自分探しの旅路へ～
全代会概論～あなたの声、届けます～
全代会活動報告

STAFF

編集人	佐藤翔哉	
発行人	江波戸憧音	
表紙デザイン案	宮西眞杏	松本英愛
編集委員	太田なみ系	松本琉那
	大谷美琴	三好真生
	尾名高祐斗	石原悠翔
	勝又玲	江波戸憧音
	川島淳一郎	小山杏奈
	菊地康介	片岡真紘
	熊谷菜々恵	佐藤陽亮
	佐藤翔哉	佐藤凌
	篠崎健太	高田梨々子
	菅原由乃	松本英愛
	高橋愛果	水野舞優
	菟場広翔	宮西眞杏

発行 全学学類・専門学群代表者会議
広報委員会



<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>
zdk@stb.tsukuba.ac.jp

広報委員会では随時専門委員を募集しています。興味のある方は上記のメールアドレスまでご連絡ください。